

小4

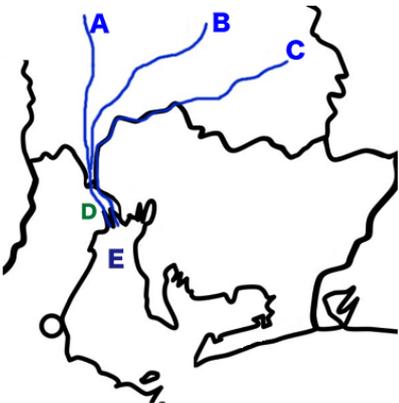
◆低い土地のくらし◆

上巻17回

氏名

得点

各10点
120点

1	濃尾平野は美濃国（今の①県）から尾張国（今の②県）に広がる。①②に当てはまる県名を記号で答えなさい。 ア、鹿児島 イ、岐阜 ウ、愛媛 エ、愛知	①	②
2	A、B、Cの川を選んで答えなさい。 (長良川、木曾川、揖斐川)	A () 川 B () 川 C () 川	
			
3	今から約260年前、木曾三川の流れを分ける工事を行った藩は、今の鹿児島県にあたります。その藩は何藩ですか。		
4	まわりを堤防で囲まれた低い土地を () という。		
5	問4の地域で、水害をさけるため一段高いところにつくられた建物は () である。		
6	問4の地域で、かつて移動や農業に欠かせなかったものは () である。		
7	水はけの悪い土地の地下に、小さな穴のあいた管をうめて、土の中の余分な水を排水する仕組みは () である。		
8	海津市では、() で囲んだ土台の上に建てられた家が多く見られる。		

9	梅雨の終わりごろなどに、せまい地域で短い時間に大量に降る雨は（ ）である。	
10	川が運んできた土砂が河口の近くに積もってきた、低く平らな土地を（ ）という。	
11	<p>昔の水害のようすなどを今に伝える石碑のことを（ ）という。</p> <p>地図記号をヒントに→</p> 	
12	<p>洪水や津波、火山の噴火などによる被害を予測した地図を（ ）という。</p>	

小4

◆低い土地のくらし◆

上巻17回

氏名

満点とれ太

得点

各10点
120点

1	濃尾平野は美濃国（今の①県）から尾張国（今の②県）に広がる。①②に当てはまる県名を記号で答えなさい。 ア、鹿児島 イ、岐阜 ウ、愛媛 エ、愛知	①イ	②エ
2	A、B、Cの川を選んで答えなさい。 (長良川、木曾川、揖斐川)	A (揖 ^い 斐 ^び) 川 B (長 ^な 良 ^が) 川 C (木 ^き 曾 ^そ) 川	
3	今から約260年前、木曾三川の流れを分ける工事を行った藩は、今の鹿児島県にあたります。その藩は何藩ですか。	さつ ^{さつ} ま ^ま はん 薩 ^{さつ} 摩 ^ま 藩	
4	まわりを堤防 ^{ていぼう} で囲まれた低い土地を（ ）という。	わじゅう 輪 ^わ 中 ^{ちゅう}	
5	問4の地域で、水害をさけるため一段高いところにつくられた建物は（ ）である。	みずや 水 ^み 屋 ^ず	
6	問4の地域で、かつて移動や農業に欠かせなかったものは（ ）である。	たぶね 田 ^た 舟 ^{ぶね}	
7	水はけの悪い土地の地下に、小さな穴のあいた管をうめて、土の中の余分な水を排水する仕組みは（ ）である。	あん ^{あん} き ^き よ ^よ はい ^{はい} すい ^{すい} 暗 ^{あん} き ^き よ ^よ 排 ^{はい} 水 ^{すい}	
8	海津市では、（ ）で囲んだ土台の上に建てられた家が多く見られる。	いしがき 石 ^い 垣 ^{しがき}	

9	梅雨の終わりごろなどに、せまい地域で短い時間に大量に降る雨は（ ）である。	<small>しゅうちゅうごうう</small> 集中 豪雨
10	川が運んできた土砂が河口の近くに積もってきた、低く平らな土地を（ ）という。	<small>さんかくす</small> 三角州
11	昔の水害のようすなどを今に伝える石碑のことを（ ）という。 地図記号をヒントに→ 	<small>しぜんさいがいでんしょうひ</small> 自然災害 伝承碑
12	<small>こうすい</small> 洪水や津波、 <small>ふんか</small> 火山の噴火などによる <small>ひがい</small> 被害を予測した地図を（ ）という。	ハザードマップ